

事務事業評価シート

令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名		40500 図書館活動費	予算科目	会計	款	項	目	担当班	社会教育施設班
施策体系	基本施策	① (図書の充実)(市図書館と図書施設のネットワーク)	根拠法令	一般	10	4	4	事業種別	☒ 主な事業
	施策の展開	25 図書館及び関連施設の充実	根拠法令	図書館法・旭市図書館設置条例・旭市図書館規則ほか					☐ 国土強靱化地域計画
	施策の展開	24 生涯学習関連施設の充実	戦略事業	126 図書の充実					☐ 新市建設計画
			戦略事業	127 市図書館と図書施設のネットワークの活用					☒ 定住自立圏構想
									☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 昭和 38 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	乳幼児から高齢者まで、住民すべての自己教育のための情報や資料を入手し提供する事業。①図書館協議会の開催②図書館資料の貸出、返却、予約・リクエスト処理③延滞資料の督促④資料(図書・雑誌・CD等)の選書、発注、納品確認、データ登録⑤資料の移動、除籍、リサイクル処理⑥リクエスト本の他自治体への相互協力依頼⑦学校・公民館図書室への図書の配送⑧市民への資料相談⑨おはなし会等各種イベントの開催⑩読書推進のための推薦図書リストの作成(広報・ホームページ・ブックリスト)⑪研修生の受入れ⑫家庭教育での読み聞かせ指導	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
昭和32年に旭中央公民館設置(図書館室併設)。昭和38年に旭市図書館設置条例公布。昭和41年に現在の建物が完成し、以後、生涯学習の拠点として市民ニーズに応え図書館サービスを提供している。	・1市3町の合併により、対象地域が広がり、旧3町の公民館等図書室との連携を始めた。 ・平成12年度から電算システムが稼動。インターネットから本の検索や予約ができるようになった。	(利用者から)・県立図書館より読みたい本があり、利用しやすい。 ・新刊本が手に入るのが早い。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)		単位:千円	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
1.備品購入費	6,551	図書購入	千円	6,985	7,000	6,820	6,551	5,000
2.使用料及び賃借料	4,307	図書館情報システム機器賃借	千円	4,777	4,777	4,780	4,307	5,613
3.賃金	6,120	図書館臨時職員賃金	千円	3,209	3,527	3,617	6,120	11,248
4.常用費	2,613	雑誌・文庫購入、ブックスタートバック購入	千円	2,604	2,861	2,894	2,613	2,819
5.その他	2,398	報償費、通信運搬費、委託料、負担金	千円	1,459	1,584	1,572	2,398	1,364
② 特定財源の内訳(1年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)					
1.国庫支出金			千円	19,034	19,749	19,683	21,989	26,044
2.都道府県支出金			千円					
3.地方債			千円					
4.その他	6,420	ふるさと応援基金繰入金	千円				6,420	1,560
			千円	19,034	19,749	19,683	15,569	24,484

前年度増減理由	臨時職員の増員、新元号対応やOSアップデート等システム保守関連作業の増加
---------	--------------------------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

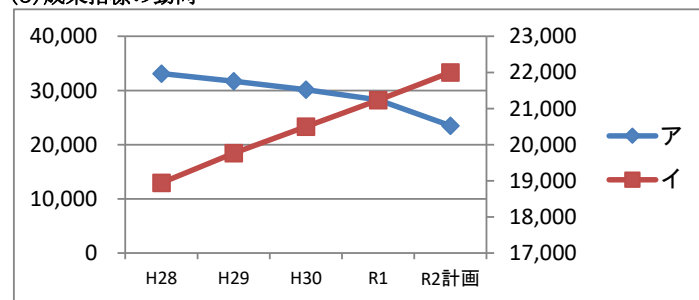
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動) ・本、雑誌、CD等の貸出 ・本、雑誌、CD等の購入、整理、保存 ・資料相談 ・学校等支援 ・講座の開催 ・ブックリスト、読書手帳の配布	ア 本の受入れ冊数	冊	4,094	4,894	4,063	3,793	3,000
		イ 本の貸出冊数	冊	103,957	100,507	94,901	89,229	73,600
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	対象 市民 意図 赤ちゃんからお年寄りまで、どの世代でも本が利用できる。 対象 意図	ア 貸出人数	人	33,120	31,703	30,140	28,250	23,500
		イ あさひ図書利用カード登録者数	人	18,942	19,765	20,497	21,228	22,000

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある		下位 1/3
大きい		①	
普通	⑤	②	
小さい		③	
		④⑤	
		⑥	(11)
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	比較	27年度 28年度 29年度 30年度 1年度
	【コメント】(低下の場合、その理由)	成果指標イ		数値増＝成果向上 ☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	成果動向	28年度 29年度 30年度 1年度 2計画
③ 今年度取組事項(2年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容	今後の方向性		
		令和2年度中	不要になった資料の除籍や公民館図書室への配本を行う。	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()		
		令和2年度中	不要になった資料の除籍や公民館図書室への配本を行う。	令和2年度中		